

こんげつ いんせき はくへん 今月の隕石薄片

なまえ
名前

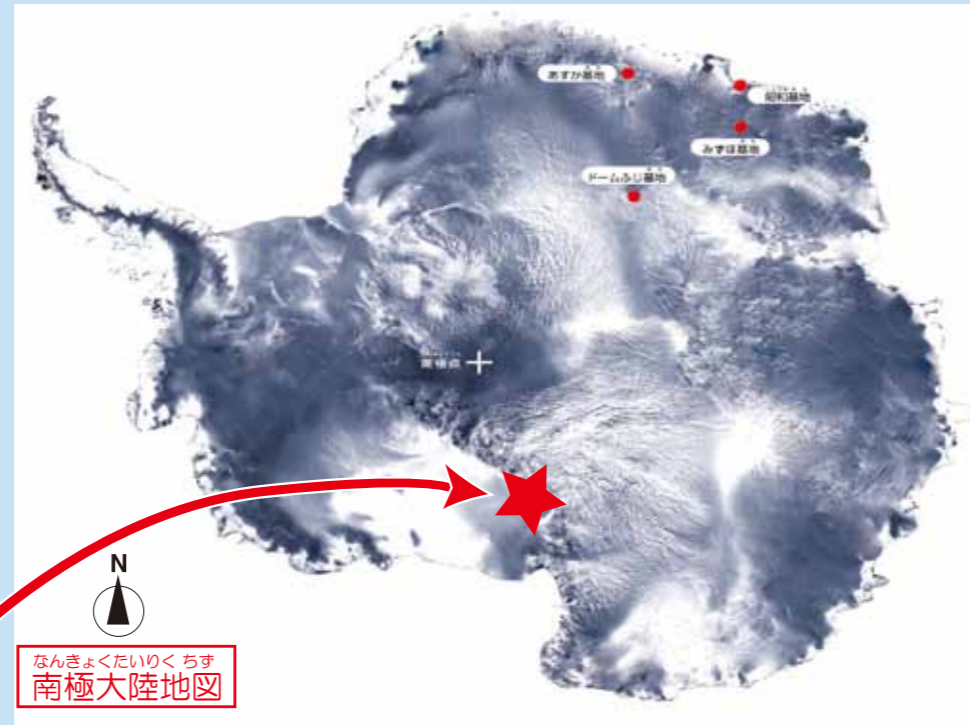
ALH-77233

しゅるい
種類

H4 コンドライト

み ばしょ
見つけた場所

なんきょくおうだんさんみやく
南極横断山脈アランヒルズ



ふく おも こうぶつ
含まれている主な鉱物

きせき せき
輝石、かんらん石

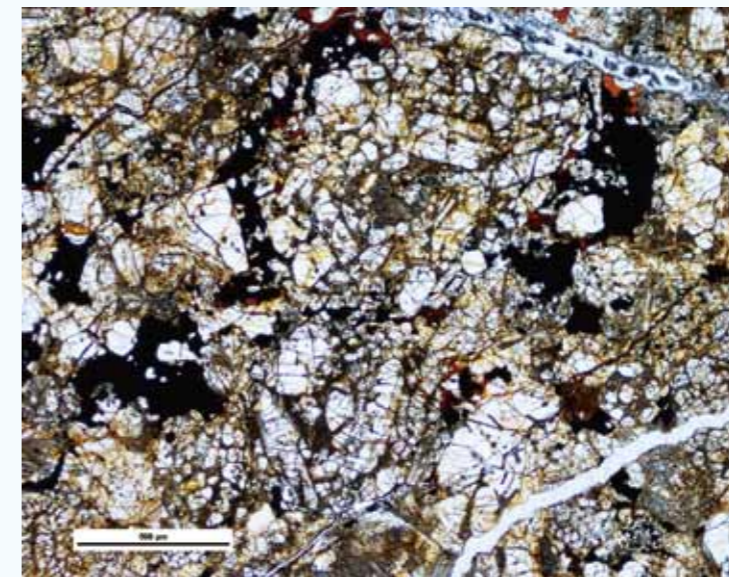
とくちょう
特徴

しげんいんせき がんせき
始原隕石のHで岩石タイプが4の隕石です。
岩石タイプ4の隕石では単射輝石が多く認められますが、
この薄片ではあまり多くありません。

がんせき いんせき へ うす ひかり とお
岩石や隕石は、すり減らして薄くすると、光が通るよう
になります。これをガラスに貼ったものを「薄片」といいます。
岩石も隕石も、いろいろな種類の鉱物の粒からできていますが、
種類によって光の通り方がちがいます。
へんこうけんびきょう み いちまい けっしょう
偏光顕微鏡で見ると、一枚の薄片から、鉱物の種類や結晶の
こうぞう 構造など、たくさんを知ることができるのです。

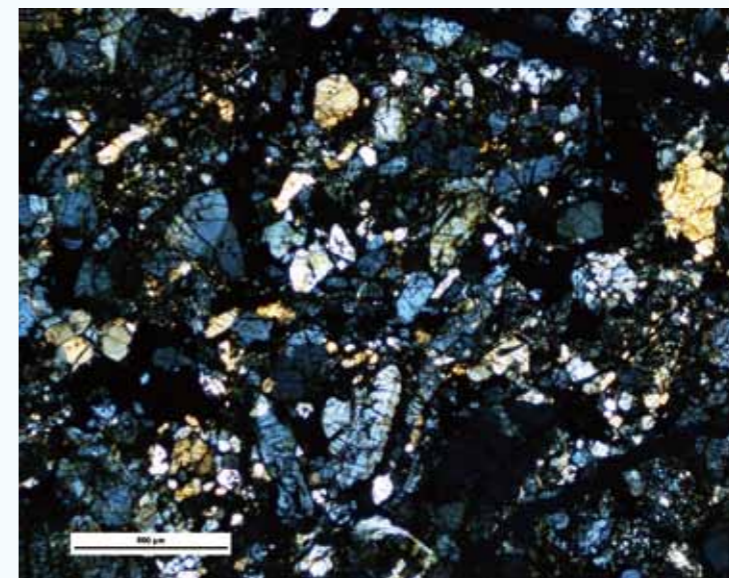


かんさつ
観察のポイント



偏光板が1枚のとき

色が
変わります



偏光板が2枚のとき

へんこうけんびきょう み はくへん ようす
「偏光顕微鏡」で見た、薄片の様子です。
偏光顕微鏡では、1枚または2枚の偏光板を通した
薄片で、鉱物の種類や結晶の特徴を観察します。
偏光板はサングラス等にも利用されており、様々な
ほうこう すす ひかり なか いていほうこう
方向に進む光の中から、一定方向に進む光だけを通す
フィルター役目をします。